

## グローバル展開プログラム(公募型研究テーマ)

◆課題(研究領域):「家族制度と男女共同参画に関する国際比較」

◆研究テーマ:「国際比較可能データによる男女共同参画と家族の役割変化の多元的動学分析」

研究期間:H26.2~H29.1

委託費総額:30,000千円

### <研究代表者>

**樋口美雄**:慶應義塾大学商学部／教授



<専門分野>

労働経済学・計量経済学

### <研究目的・概要>

・社会構造が変化する中、男女の役割の変化を明らかにする必要がある。



・男女共同参画を推進するための施策を世界に向けて発信する。

・公的統計やパネルデータ、縦断調査、横断面調査といった動学的視点から政策評価や政策の役割について多角的に分析を行う。

・日本のみのパネルデータのみならず、欧米・アジアを含んだデータを活用して国際比較を行う点で、従来の研究とは異なる。

### <研究計画の特徴>

#### ・国際共同研究、成果発信

アメリカ、ドイツ、フランス、トルコ、香港、およびOECDの研究者との国際共同研究を推進していく。成果は国際社会学会、International Panel Data Conference、国立社会保障・人口問題研究所、EHES(フランス国立社会科学高等研究院)を含む国内外の研究ミーティング、英文専門Journalなど、多くの場で研究成果を報告する。

#### ・政策の変化と文化伝達モデルの関係

パネルデータと理論モデルを用いて、政策の変化と家族の文化伝達モデルの関係性を研究する点に特色がある。

### <目標とする研究成果>

男女共同参画に関する政策提言

研究成果は日本のみならず、アジア・欧米各国の政策立案に有益な示唆となる。

具体的な対象として、雇用・教育・地域政策、社会サービス施策、税・社会保障制度、社会・経済政策などが挙げられる。